



<当会のホームページ>
<https://www.furusatotaishi.com>

■ 本会のシンボルマークは、大使同士の情報交換及び、その委嘱者との相互交流を主眼に図案化。4つのモチーフからなり、山（緑色／地方・故郷・自然）と矩形（青色／都会・テクノロジー）と円及び輪（黄、橙／人・情報・ネットワーク）を表現。

HEAD LINE

- 【1面】
 全国大会2022を開催
- 【2～3面】
 ふるさと大使全国大会2022 記念講演(要約)
 「地域を変えるチカラとは何か？」
 一実学・現場重視の視点から—
 東京農業大学教授 —木村 俊昭
- 【4～5面】
 ウィズコロナ時代までに至る
 「ドリーム夜さ来い祭り／よさこい鳴子踊り」
 の世界展開について
 一般財団法人ドリーム夜さ来い祭り
 グローバル振興財団 理事長
 —扇谷 ちさと
- 【6面】
 非連続の時代とプランB、プランCの大切さ
 —平谷 英明
- 【7面】
 3つのふるさと大使を拝命して
 自治大学校客員教授 —牧 慎太郎
- 【8面】
 新会員のひと言 —友岡 照美
 —平田 和彦
- 【9面】
 旅を詠む(八)歌詠み人 鈿谷君子の旅紀行
 —鈿谷 君子
- 【10面】
 (秋田県鹿角市) 第58回東京八幡平会の集
 いに参加して
 (岩手県) 八幡平市ふるさと大使・八
 幡平ふるさと会会長 —伊藤 彰
- 【11面】 三名(迷)所探し
- 【12面】
 事務局より
 全国ふるさと大使連絡会議の概要
 編集後記 他

全国大会2022を開催

コロナ禍の第7波が収まってきた昨年10月20日(木)、十分な感染予防対策を講じたうえで、一昨年と同様にルポール麹町で全国大会が開催されました。



代表のあいさつ

今回は、講演、プレゼンテーション、スピーチ、懇親交流というプログラムで、ほぼコロナ前の標準パターンでの開催となりました。

まず、木村俊昭東京農大教授から「地域を変えるチカラとは何か」と題して、ご自身の小樽市での体験を踏まえて、身振り手振りを交えた地域おこしの熱い話が披露され、会場を沸かせました。(講演の要旨は2～3ページ)

次いで、扇谷ちさと(一財)ドリーム夜さ来いグローバル振興財団理事長から「ウィズコロナ時代までに至る『ドリーム夜さ来い祭り/よさこい鳴子踊り』の世界展開について」と題してニューヨーク、シンガポールでの夜さ来い鳴子踊りの公演など世界で活躍されている様子がスライドの写真をもとに披露されました。(プレゼンテーションの内容は4～5ページ)

その後、元テレビ朝日アナウンサーの佐々木正洋北九州市観光特使から、先日亡くなられたアントニオ猪木さんの思い出話として「気合注入のピンタの第一号」となった顛末が披露され、会場は笑いの渦に包まれました。

引き続き懇親交流に移り、料理、飲み物を味わいながら会話が弾みました。また、歌手の尾野玲子さんが、ふるさとの越前大野を思いつつ作詞、作曲された「わたしのふるさと」とシャンソン「愛の讃歌」を美しい歌声で歌われました。

参加者が耳を澄ませて会場が静かになったところで、新しく会員になられた平田和彦さん、大場いぶきさんの自己紹介、さらに今回初めて全国大会に出席された方々がひと言ずつ話をされ、なごやかな雰囲気の中で、千波裕美理事の音頭で「ふるさと音頭」を全員で合唱しお開きとなりました。

また、伊藤美智子理事が持参された屏風の日本地図に沿って、それぞれふるさと大使がゆかりの地方に名刺を貼付し、ふるさと大使名刺屏風が出来上がりました。これも全国ふるさと大使連絡会議の全国大会ならではの風物詩です。

3時間弱という短い時間でしたが、60名弱の参加者が交歓を尽くし、別れを惜しみつつ地方から提供いただいた特産品を小分けにしたお土産を手し、地域おこしの熱い思いを胸にそれぞれ家路につかれる……そんな全国大会でした。



集合写真

ふるさと大使全国大会2022 記念講演 (要約)

「地域を変えるチカラとは何か？」

—実学・現場重視の視点から—

木村 俊昭 東京農業大学教授

地域創生・SDGsの推進

今、地域創生・SDGsの推進が求められています。本日は、それを実現するための方法について、お話しをさせていただきます。

私は小樽市をはじめ全国で地域創生や地域人財の養成、特に五感を生かし、「食」などを通じて、「ひと育て」「まち育て」を実践してきました。最近SDGs (Sustainable Development Goals) の推進を実学教員等とチーム編成で実践しております。

地域創生・SDGsの推進にあっては、国連の定めた17の目標が重要となります。よくみると17項目が関係していることがわかります。まずは、自分たちが住み暮らす地域の宝ものを探し、研いたりしてみましょう。そこで大切なポイントは、実学・現場重視の視点、部分個別ではなく、全体最適思考で実践することです。最適とは最もよい状況のことです。また、リーダー・プロデューサー人財の養成と定着がカギであり、持続する地域の実現の



会場全体の様子



木村俊昭 略歴

小樽市の地域活性化に奔走し、赤レンガ倉庫群など歴史的建造物の活用、地場産業振興、地元のモノづくり職人とのコラボなどにより、『ガラスの街・小樽』ブランドを確立。その手腕を買われ、内閣府企画官、農水省企画官などを歴任。

現在は、東京農業大学教授・博士(経営学)、東京大学大学院非常勤講師、内閣官房シティマネージャー、総務省地域力創造アドバイザー、日本地域創造学会会長。

□地域を変えるチカラとは何か? ※ひと育て・まち育てとは何か?

(1)人間関係づくりとコミュニケーション(ひと育て)

- ①自己分析、②自己理解から、③他者理解、④相互理解、そして、⑤相互共感へ ※チーム・組織理解



(2)地域創生の本質(まち育て)

- ①実学・現場重視、②全体最適思考、③官民共創(役割分担) ※必然によるキーパーソンと取り巻く人的ネットワークの構築 ※「協働」「共創」「共有」「共感」

(3)実践行動の実例

- ①リーダー・プロデューサー人財塾の開塾(人財養成プログラム) ②「五感六育」の立体的ストーリー化(事業構想)と実現

4

地場産業振興：まちの未来創発法

- ・五感分析(食、観、嗅、触、聴) ※「五感六育」分析

希少性が高いものは「ひと」「こと」「もの」の一覧表作成

- (1)過去あり・今あり、(2)過去あり・今なし、(3)過去なし・今あり(4)過去なし・今なし

※「五感六育」展開で地域に展開創発!

- ・基幹産業分析 ※RESAS《地域経済分析システム》数字が5年前、よって現場!

- ・製造業、卸小売業、建設業、サービス業、農業、林業、など 「好き」「たのしい」「おもしろい」の実現!

- ・付加価値額によって順位をつける(上位10業種ランキング)

- ・「わがまちで多くの人を雇い給料を払い、税金を納めているのは、どの業種か?

- ・付加価値額ランキングを踏まえ、現場を確認し、自分のまちの

- ・希少性の高いものと基幹産業をつなぐ

- ・「六育」環境(バランス) 現在⇒未来予測(Ｆ・Ｄ)を鑑く!

- ・将来に向けて、順番、視点、改善、ストーリーを考え、全体が

- つながるよう、自らの未来図(産業、人財養成など)を描くこと!

- ・(知育=知性を養う、食育=5味体験、木育=自然の温もり、

- ・遊育=考える力、健育=健康を保つ力、職育=共に働く)



8

ためには「五感六育」の立体的ストーリー政策の策定が重要となります。

地域の宝もの探しと研ぎ方

自分たちの地域の「ない物ねだり」をするのではなく、「あるもの探し」をすること、そして、よく研ぐことが大切となります。地元の産業・歴史・文化を掘り起こし、よく研ぎ、きらりとひかり輝くよう世界に発信する「まち育て」をすることです。また、未来を担う子どもたちに愛着心を育む、「ひと育て」が重要となります。そのために、「五感六育」の全体最適な「立体的ストーリー政策」の策定と実践をしてみましょう。

「五感」とは味わう(食)、観る、嗅ぐ(香り)、触れる(体験)、聴くこと。「六育」とは知育、食育、木育、遊育、健育、職育のことです。タテ・ヨコ・ナナメから見つめ、役割分担と出番創出のストーリー(脚本)を作成することです。特に、その地域の「六育+α」の創発が肝要となります。例えば、歴史的建造物を学ぶ機会としての親子三世代交流や地域の宝ものを探す催しなど、地域の産

業・歴史・文化に接する、自ら知り気づきの機会を創発してきました。好き、楽しい、おもしろいの実現から、地域に笑顔、感動と感謝を生み出したいものです。

実践することが有効と考えております。

地域創生・SDGsのプログラム

地域における問題点の発見から、課題を整理し、解決のための仮説、政策の立案、全体調整のうえ、政策決定、実践行動することです。そして、政策の検証をして、再度、政策を策定のうえ実践行動します。期間は1年半サイクルの2回、3年間が目安となります。2023年度は次の取り組みを実践予定です。

- ①小学・中学・高校生が地元へ愛着心を育む「地元学」の推進
- ②社会人を育む大学院での実学教育の推進
- ③映画ワークショップの実践
 - 「五感六育」の立体的ストーリー (脚本) の策定—
- ④地域の短期・中長期計画に地域創生・SDGsや人材養成の導入
- ⑤「そこだからできた」ではなく「自分たちにもできる」の知り気づきの機会づくり

地域を変えるチカラとは何か？

地域を元気に、活性化するには、人間関係づくりには、自己分析、自己理解が大切なように、自分たちの地域の分析から、地域の理解が重要であり、次に他の地域の理解から相互理解となり、相互共感と発展します。自分たちの住み暮らす地域の強みをより強くし、弱みを強みに変えるには、地域交流、地域連携が欠かせません。そのような、日々の「まち育て」の取り組みから「ひと育て」を推進することです。重要なのは、地域を変える必要があるのかは、住み暮らす皆さんの考え次第ですが、そこには「ひと」が要といえましょう。

この一連のプロセスを地域の皆さんで体感するためのひとつの方法として、五感分析から基幹産業分析、六育+α分析をし、全体最適な立体的ストーリー (脚本) を作成、短編映画を作成する、「映画ワークショップ」を

【提供いただいた地方の特産品】

ニセコ町

- ・トマトジュース15本

弘前市

- ・純米酒 (720ml) 10本
- ・kimoricider10本
- ・TAMURACIDER10本
- ・りんごジュース2種各6本
- など

青森ジャパンファーム (株)

- ・りんご2箱 (28個)

岩木山観光協会

- ・シードルりんごジュース

酒田市

- ・酒田蔵元7社の日本酒
(東北銘醸初孫いなほ・菊勇出羽の里三十六人衆・オードヴィ庄内清泉川純米吟醸・酒田造上喜元特別純米・麓井酒造きもと純米・松川酒造秘めごと・楯の川酒造凌牙)
- ・オランダちゃんなどお菓子
(オランダちゃん・お米のカステラ・まろにえ・酒田むすめ・ごま屋根)
- ・つや姫 ・雪若丸 (お米)
- ・麦そばレトルト ・いかめし

伊藤美智子理事

- ・るかんた (小山ブランド干瓢菓子) 25個

大場いぶき会員

- ・浪花屋 元祖柿のたね 10袋

長野県箕輪町

- ・長野県特産蕎麦

ふるさと喜界島大使館

- ・サーターアンダギー (サトウキビから作ったお菓子) 2個入り×80袋

与論島観光協会

- ・ワイン24本

千波裕美理事

- (与論パナウル王国観光大使)
- ・高野フルーツパーラー
フルーツチョコレート





ウィズコロナ時代までに至る 「ドリーム夜さ来い祭り／よさこい鳴子踊り」 の世界展開について

「ウィズコロナ時代までに至る『ドリーム夜さ来い祭り／よさこい鳴子踊り』の世界展開について」と題して、扇谷ちさと（一財）ドリーム夜さ来い祭りグローバル振興財団理事長から次のような力強いお話を伺い、勇気と元気をもらいました。

■ よさこい鳴子踊り

よさこい鳴子踊りは、戦後復興・観光振興を目的に昭和29年に高知で生まれた踊りです。

高知商工会議所青年部が中心となり、土佐らしく自由な祭りにしようと、（1）鳴子を使うこと（2）前進しながら踊る（3）よさこい節を楽曲の一節に入れる（注：現在の日本各地で定着しているよさこい系の祭りでは地元地域の民謡や文化などを織込むというルールに変化しています）のルールで祭りがスタートしました。

とくに楽曲・振付・衣装が自由で、ロック、ジャズ、レゲエ、クラシック---などジャンルは問わず参加できる。この普遍性・柔軟性が全国各地でよさこい系の祭りとして急速に広がった要因です。

高知で生まれ育った私は、このよさこい鳴子踊りのどなたでも自由に踊りを楽しめるということが大好きで、その良さを「ドリーム夜さ来い祭り」の開催などを通じて国内はもとより世界中に広める活動しております。

■ 踊れば夢は叶う

始まりは平成14年（2002年）。私の住んでいる東京で



第21回ドリーム夜さ来い祭り「お台場 自由の女神会場」有観客開催の風景（今回の開催時の最新の写真です）



扇谷さんのプレゼン風景

新たな祝祭を確立すべく、お台場全域でりんかい線のプレ全面開業記念を兼ねて初開催しました。

祭りの立ち上げから5年たった平成19年（2007年）。第6回からは、東京都・フジテレビ共催になり今日に至っています。

以後、お台場のほかに、丸の内、有楽町、秋葉原などの広範なエリアを会場に開催。また、イベントとしても羽田空港、東京タワーや東京スカイツリーでも開催。まさに東京の顔となるエリア・施設を会場にしてきました。ここ近年の本祭ではお台場・丸の内が現在も続く開催エリアとなっています。

ところで、お台場には自由の女神のレプリカ像があります。

その自由の女神の像を見ながら踊っているうちに、女神像の本場のニューヨークで開催し、このすばらしい踊りをニューヨーカーたちにも体感してもらいたいと思いはじめ、立ち上げ当初から周辺には「ニューヨークで開催する！」と広言していました。その度に、「風呂屋で開催するの？」とよくからかわれたも

のです。

その頃より東京での「ドリーム夜さ来い祭り」開催10年を過ぎたら、世界展開を進めることを計画に入れました。実際に10年を過ぎた平成24年（2012年）4月に糸川事務局長と2人でジョン・F・ケネディ国際空港に降り立ち、現地開催に向けて動き始めたのです。初めてのニューヨークでした。滞在中はとにかくマンハッタン中を歩きまわり、開催候補地を探りました。答えは、滞在中のホテル（マリオットマークイズ）の目の前にありました。そこは、ニューヨーク市を象徴する場所の一つでもある「世界の交差点・タイムズスクエア」でした。

帰国後、ニューヨーク市役所の担当局にメールで概要を送付し、ほどなくして返信がきました。それは、会場候補地で申請した「タイムズスクエア」のエリアは億単位の使用料を負担しなければ開催できないというにべもない書類でした。

傍目から見るとハードルは高いように思われましたが、何故か私の頭の中ではタイムズスクエアでの開催シーンが頭に浮かび、実現できると確信めいたものが根底にありました。その後もさまざまなルートを通じて奔走したのを覚えています。

■ 世界の目抜き通りでよさこい鳴子踊りを

初開催の年（平成25年／2013年）となった正月早々に直球勝負に出ました。当時のブルームバーグ・ニューヨーク市長に直接手紙を送ったところ、私の願いが通じたのか、市長より直々に激励のお手紙をいただきました。その手紙も後押しとなって、タイムズスクエアの使用許可もとんとん拍子に進みました。晴れて、同年4月に日米交流・東京とニューヨーク姉妹都市交流の一環として「ドリーム夜さ来い祭りinニューヨーク」をタイムズ



ドリーム夜さ来い祭りinニューヨーク（タイムズスクエアでの初開催時）

スクエアで開催することができたのです。

この祭りは大盛況で、地元のニューヨーカーたちの注目を集め、タイムズスクエアを訪れた世界中の観光客の方々にも一緒に楽しんでいただいたことも嬉しい驚きでした。

この成功に力を得て、平成30年（2018年）にはシンガポールが目貫通りのオーチャード通りとその周辺で「ドリーム夜さ来い祭りinシンガポール」を開催し、観客から大喝采を得ました。さらにシンガポール開催をきっかけに、お隣のマレーシアでもドリーム夜さ来い祭りの普及に携わっております。

ようやくコロナ禍も落ち着き、構想していたパリ・ロンドンなど世界各地の象徴するエリアで「ドリーム夜さ来い祭り」を単独開催し、さらに世界中によさこい鳴子踊りの輪を拡げていきたいと思っています。



扇谷 ちさと

一般財団法人ドリーム夜さ来い祭り
グローバル振興財団 理事長

（一財）ドリーム夜さ来い祭りグローバル振興財団

<http://www.dreamyosacoy.jp>

「よさこい魂 踊れば夢は叶う」（扇谷ちさと著 幻冬舎）

<https://www.gentosha.co.jp/book/b9244.html>

（編集部より）11月5日（土）、6日（日）お台場エリアと丸の内エリアの4会場でリアル観覧+オンライン視聴の「第21回ドリーム夜さ来い祭り」がハイブリッド開催され、全国各地から52チーム4000名の参加による踊りが披露されました。この模様は多くのマスメディアやネットニュースでも取り上げられました。

また、「第21回ドリーム夜さ来い祭り」アーカイブ版配信（11月6日収録）

<https://youtu.be/iC-sbLMXLrQ>

メタバースVR360°特等席（有料）

<https://www.dreamyosacoy.jp/mainevent/>

でも見るすることができます。

非連続の時代とプランB、プランCの大切さ

昨年世界の人口が80億人を突破しましたが、今後もしばらくは人口の増加が続き、15年後の2037年には90億人を超えると予想されています。

もっとも人口増加は一様ではなく、わが国のように10年ほど前から人口減少が始まり、非婚化、晩婚化、少子化の傾向に鑑み、今後も減少の一途をたどると予測されている国や中国のように、人口増加の勢いが鈍化すると見込まれている国もあるなど国により増加、停滞、減少とまだら模様になっています。このため、今後人口急増地域の国々の国際政治におけるウェイトが高まるなど地政学的な変化が起こると予測されています。

また、まだら模様を描きながらも、大きな趨勢として人口増加の勢いはすさまじいものがあり、この爆発的に増加した人類の営みが地球の生態系に重大な影響を与える「人新世（Anthropocene:アンソロポセイン）の時代」に入ったと言われています。

その1つの表れが地球温暖化に伴う異常気象で、世界各地でかつて経験したことのない大洪水、大干ばつが発生しています。また、動物由来の病原菌の人への感染によるパンデミックも、かつて経験したことのない世界的拡がりとなっています。

このようかつて経験したことのない事態の頻発、それは過去からの連続性のない非連続と言えるのですが、そうした非連続の時代には、政策も第1案のプランAのほか、予想外の事態が発生しても対処しうるように、プランB、プランCを用意しておくことが大切です。そのプランB、プランCも、第1案のプランAと同工異曲のプランA'(Aダッシュ)のようなものであっては意味がないので、異なる観点からのプランB、プランC作りが大切となります。

その際役立つのが、①マッピング思考 ②リフレーミング ③ディスラプション の3つの考え方です。

①マッピング：mapping

地図作成、図化という意味で、「物事を、まるで地図を描くように俯瞰的にとらえようとする考え方」です。これにより、最初に考えた道筋（プランA）とは別の道筋（プランB）も見えて来るといふ思考方法です。

②リフレーミング：reframing

問題の枠組み（フレーム）から完全に抜け出すという「フレームからの脱出」という意味で、例えばオフィスビルでテナントからエレベーターが遅くて待ち時間が長

すぎるという苦情が出た場合、エレベーターをスピードアップしてフレーム内で解決策を探すというプランAの策の他に、フレーム外の発想からエレベーターホールに鏡を置いたり、スクリーンを設置して待ち時間を長いと感じさせないようにするというプランBの解決策を考えるという手法です。

③ディスラプション：disruption

破壊的变化ということで、変化の激しい不確実な時代では業務の基盤自体が変化するので、従来の基盤の下での成果の追求が結果的に間違った方向に向かっていったような事例です。

写真のコダック社は、アナログ写真事業から上手くデジタルプリンター事業への切り替えを行い、デジタルプリンター分野で勝者となりましたが、これが事業破綻の原因となりました。時代が変わって、例えば、写メでたくさん写真を撮って、そのまま保存して鑑賞したり、映える写真を転送、拡散したりするなどデジタルで写真を鑑賞・共有・編集するのが一般的となり、プリントアウトすることが不用となっていたからです。

このようなディスラプションから事業を守り発展させていくためには、業務、業態を固定的なものと考えず、業態の異なるパートナーと組むなど多角的に柔軟に対応することが必要です。

いずれにいたしましても、新しい年を迎え、デジタルトランスフォーメーションが求められるなど変化の激しい昨今、地域おこしについても、1つだけの政策プランAだけに拘らず、柔軟な発想でプランB、プランCを考えることが大切で、当連絡会議としてもそうした流れに対応できるように、関連する情報の収集や提供に努めていきたいと考えています。

本年もどうぞよろしく願います。

代表 平谷 英明



3つのふるさと大使を拝命して

自治大学校客員教授 牧 慎太郎

「ふるさと大使」は、出生地や勤務地など縁の深い自治体の広報活動などに携わりますが、私は出生地である青森県八戸市の「八戸特派大使」、本籍・実家のある兵庫県姫路市の「姫路ふるさと大使」、総務省から島根県庁に出向したご縁で「遣島使」の委嘱を受けています。

■八戸特派大使

私は、本籍・実家が兵庫県姫路市にあり、幼稚園（太子町立斑鳩幼稚園）・小学校（伊丹市立天神川小学校）時代を兵庫県で過ごしたことから、プロフィールには兵庫県出身と記載していますが、私が生まれたのは青森県八戸市です。父も転勤族（自衛隊のパイロット）だったため、八戸市に住んでいたのは3歳まででしたが、八戸特派大使の名刺には家族でよくドライブに出かけた種差海岸の写真を使っています。



私が総務省自治行政局の情報政策企画官だった時、八戸市が地域SNSモデル事業に参加し、「はちみ一つ」というインターネット交流サイトを立ち上げたことをきっかけに、生まれ故郷である八戸市とのつながりが復活し、東日本大震災では被災した八戸市にふるさと納税（返礼品なし）しました。

また、総務省課長時代には八戸圏域定住自立圏の講演会で、さらに独立行政法人 水資源機構の理事・総務人事本部長に在任中は「水資源の現状と展望」と題して北奥羽地区水道事業協議会と八戸圏域水道企業団の研修会で、それぞれ講演する機会もありました。八戸市の小林真市長（当時）が総務省におられた頃は、山遊会恒例の春の高尾山～陣馬の湯 縦走登山で一緒した縁もあり、八戸市の皆さんには親しくしていただきました。

八戸市には市役所や民間のIT企業に登山が好きな方々がおられ、白神山、姫神山、太平山、和賀岳、焼石岳、三石山、七時雨山など北東北の山々に一緒に登り、日本三百名山の完登に向けても大きな力となりました。さらにコロナ禍の2年間を除いて、毎年のように春の八甲田山で雪山登山を楽しんでいますが、ふるさと大使のご縁があったのことに感謝しています。

■遣島使

私は昭和61年4月に旧自治省に入省してから令和2年7月に消防大学校長を最後に総務省を退官するまで、霞ヶ関勤務をはさんで奈良県、北九州市、島根県、北海道、



兵庫県、熊本市の6つの地方自治体に勤務しましたが、島根県に企業振興課長、財政課長として勤務した3年間には島根百山も踏破しました。遣島使のご縁もあって、島根県には総務省に戻ってから4回ほど講演で訪れる機会があり、島根県勤務時代の山仲間と一緒に道後山、船通山などに登りました。また以前、島根県のふるさと納税の返礼品に仁田米コシヒカリ「まき」があった時は、ご縁を感じてふるさと納税しました。

■姫路ふるさと大使

姫路ふるさと大使としては、市役所やJCなどの依頼で5回ほど講演の機会があり、熊本市副市長時代には、第47代「姫路お城の女王」の訪問を受け、天下の名城として名高い姫路城と熊本城をつなぐ役割も担いました。



姫路ふるさと大使の名刺には、姫路城の無料招待券が付いていますが、これは私が高知県観光特使の名刺を参考に姫路市役所に提案して実現したものです。

ちなみに、島根県にも遣島使の名刺に松江城の無料招待券を付けたらどうかと提案しているのですが、松江城は松江市が所管しているので難しいとのこと。必ずしも県と市の関係が良くないと縦割り行政の壁を乗り越えるのは難しいようです。

兵庫県に政策局長、企画管理部長、企画県民部長として勤務していた4年間は、土日は姫路の実家に泊まって、実家の農作業を手伝ったほか、兵庫県西部の山々によく登っていました。今でも毎年「山の日」には実家に帰省して兵庫県最高峰の氷ノ山に登っているほか、1～2ヶ月に1度は帰省して、地域SNS「ひよこむ」の仲間達と無農薬農園や里山活動に取り組んでいます。

県境を越える15回の転勤を繰り返し、日本三百名山も完登した公務員の全国各地におけるエピソードについては、よろしければAmazon公務員・官僚ランキング1位になった拙著「山族公務員の流儀」（2021年、時事通信社）をご覧ください。



2014年10月 熊本市役所にて

◆新会員のひと言◆

喜界島大使館館長 友岡 照美

喜界島を離れて35年、故郷への想いは強まるばかりです。昨年、親しい方々を案内に帰省して来ました。新しい宿泊施設に泊まり綺麗な海を眺めて、綺麗になっていく場所と人口減少の為手付かずの場所、そして誰も住まなくなった実家。私に何ができるのでしょうか？

今、私は千葉県でシフォンケーキ&サターアンダーギーのお店を営んで20年になります。子育て、家事、収入を得るために、そして何より故郷のザラメを使うことで喜界島と繋がってられる仕事だと思えました。お客様に喜界島を知って貰いたいと思って、つい長話をしてしまいます。喜界島の話をする止まりません。子供の頃、当たり前に見ていた自然に価値があるのだろうなあと感じています。石垣の上に生えていた多肉植物、名前も知らなかった花々を最近、お花屋さんでよく見かけます。島では雑草として生えていますから、育てやすいですね。また、『日本で最も美しい村』連合にも選ばれて2位に入賞した事もあります。『日本で最も美しい村』連合とは、素晴らしい地域資源を持つ美しい村や町が自らの地域に誇りを持ち、将来にわたって美しい地域づくりを行い地域の活性化を住民自らの手で推進する団体です。失ったら2度と取り戻せない日本の農山漁村の景観と文化。そん

お母さんの
シフォンケーキ
南の島からの贈り物
それはあなたを幸せに
します
あなたの笑顔に
ありがとうございます
小さなお方によろこど



なテーマにぴったりの喜界島。喜界空港には『日本で最も美しい村』連合の看板が設置されています。

最近、面白い言葉を見つけました。「コンビニサイズの小さな空港」。喜界島でしか見られない珍しい動植物や風景など豊かな自然が沢山あります。人気が出る前の観光客が少ない今の時期にゆっくりとした時間を過ごしてみたいかでしょうか。

島は小さいけれども魅力は大きな喜界島。コンビニサイズの本当小さな空港が皆様をお迎え致します。是非、お越しください。



風間浦村ふるさと大使 平田 和彦

青森県下北半島に位置する風間浦村は、津軽海峡に面した本州最北の村です。室町時代にはすでに湯本として知られた下風呂温泉郷、イカ釣り船の漁火が煌めく夜景、風間浦で養殖法が確立された布海苔など、わが村の自慢は枚挙に遑がありません。中でも地域団体商標「風間浦鮫鱈」はその資源保護の取り組みが評価され、G20大阪サミットで首脳夕食会の食材に抜擢されたほか、東京神田の老舗鮫鱈料理店「いせ源」で特別に扱われる逸品です。

私が初めて村を訪れたのは大学院生の頃でした。海鳥研究の調査地であった大間町や風間浦村に移住し、豊かな自然や温かい人々に触れて下北に惚れ込んだ一方で、「下北には何も無い」とすぐ口にする住民の多さに残念で堪りませんでした。よそ者の視点と自然科学の専門性を活かし、住民に下北の魅力を伝えたいと考え、風間浦村を含む下北5市町村が一丸となって取り組む「下北ジオパーク」の活動を推進する専門員として、2015年むつ市役所に就職。ジオパークを最前線で牽引し、翌年の日本ジオパーク認定に導きました。ジオパーク活動が進み、下北のことを誇る住民が増えてきた実感を得ると、さらに専門的な立場から、また地域外から下北に恩返ししたいと夢見るようになり、2017年から千葉県の博物館学芸員に転職。自身が制作した海鳥の企画展が下北各地を巡回するなど、少しずつですが夢を実現させているところです。

実は、私の母校、京都の同志社中学校の卒業アルバムには「風間浦中学校との交流」のページがあります。同志社を創った新島襄は、1864年に箱館に向かう道中、風待ちで風間浦に

寄港し、下風呂温泉に滞在。この史実から風間浦村と同志社との交流が始まり、私が卒業した2001年度は風間浦中学校の2年生全員が毎年同志社を訪れるようになって10年の節目だったのです。この稀有なご縁で、私は同志社を卒業した最初で唯一の風間浦村民として、村で本当に大事にさせていただいてきました。そして2020年、いせ源社長や同志社中学校長（私も授業を受けた恩師）らと共に、ふるさと大使を拝命しました。

全国の先輩大使各氏から多くを学び吸収し、自身の活動に役立てることを目的に、入会致しました。ご指導ご鞭撻の程、宜しく申し上げます。



左から、越膳泰彦風間浦村教育長、飯田浩一風間浦村長、筆者、大谷實同志社総長、佐藤光彦同志社校友会青森県支部長（いずれも当時）。2016年、風間浦村「新島襄寄港記念碑」前にて。

旅を詠む (八)

歌詠み人 ただらだに 鈔谷君子の旅紀行



『天狗しで』

「天狗しで」という樹がある。全国的にも珍しい樹であるらしい。

突然変異によって「しで」の樹は、くねくねと曲がりたように曲がり、春は葉をいっぱいつけて茂り、秋は葉を落とす。

幾百年瞑想に耽りしその枝の
自在にくねる天狗しでの樹

ゆっさりと秋の葉揺り上げしでの枝を
すばやく渡る異形の者あり

「しで」という樹はあるが、広島県のように曲がりくねったものは全国的にも珍しい樹であるとか。少々薄暗い山の斜面での想像の歌。

しでの樹のくねる上枝に大団扇
かかげし天狗がこなた見ている

朴葉もて酒ふるまえば赤天狗
青天狗らの奇声もごも

しでの樹にひそひそ
見えいし鬼も吾も
秋夕闇に溶けはじめたる

とんきょうに啼きしは何鳥そののちの
音なき山に樹の葉降りつぐ

何とも言えない山の景であった。私たちが落葉を踏んで歩かなければ、音のない風景である。

こんな時、あの枝にこの枝に天狗が現れたら鬼の奇声どころではない。私たちが奇声を上げて一目散に山を駆け下りたであろう。

この谷の雪の深さを細ぼそと
傘かたむけて天狗茸言う

鬼・天狗ころろに在りて抗わず
昨日今日と過ぎ秋は聞けたり

春になれば短いけど花房を垂らして、やさしい光を零すであろうことを想像しつつ、山の坂を下った。



(秋田県鹿角市) 第58回東京八幡平会の集いに参加して

(岩手県) 八幡平市ふるさと大使・八幡平ふるさと会会長 伊藤 彰

山頂へとなだらかに広がる湿原が広い空に抱かれた標高1613.5mの八幡平は、深田久弥の百名山や国立公園として岩手、秋田の両県に跨ります。従って、岩手県人にとっても、秋田県人にとっても、その山に向かいて言うことの無い共通の有難い存在となっています。

私の出身地八幡平市は、岩手県岩手郡内の市町村合併で2005年（平成17年）西根町、安代町、松尾村が一つになって誕生しました。しかし、秋田県鹿角郡にも八幡平村があるので、双方の八幡平出身者にとって宝物を両者で取り合っているかのような、微妙なわだかまり感が八幡平市誕生時少し気になっていました。昨今の戦前であるかのような世情下、『隣人争わず』の精神こそが世界平和の要諦と思っていますので、八幡平ふるさと会の役員となった私は、鹿角市のふるさと会の関係者との外交交渉の機会を探しておりました。

その後全国ふるさと大使連絡会議に参加させて頂くようになり、2015年（平成27年）かわら版秋季号に「ふるさと住民票と準市民について」を寄稿された京都学園大学名誉教授の坂本信雄先生が何と！秋田県鹿角市出身兼元ふるさと大使でした。同年の連絡会議懇親会の際、浅田和幸連絡会議前代表に坂本先生をご紹介頂くこととなりました。その出会いを好機として、(岩手県) 八幡平ふるさと会と(秋田県) 東京八幡平会の交流が始まり、東京で毎年開催される互いの懇親会の集いに役員同士が親交を温めて、今日に至ります。



坂本信雄氏（左）と再会

昨年は、11月19日（日）京橋相互館タワー B1 のアリスアクアガーデン東京銀座にて、第58回（秋田県）東京八幡平会の集いが開催されました。私も早速、(岩手県) 八幡平ふるさと会の代表として、集いに参加させて頂きました。全国的なコロナ禍で2年の中断を経て行動規制が解けた年の秋は、待ちに待って望んだ80人程の参加者となりました。

12時に会が始まる前の参加者全員での記念撮影、安保進会長挨拶、来賓紹介を経ていよいよ関厚市長の講話が始まります。題名は「鹿角の魅力と将来—ユネスコ無形文化遺産の指定等について—」です。近代温泉文化の起源、八幡平が国立公園に指定されるまでの経緯、鹿角や十和田湖、八郎潟、十和田湖等の伝説について熱いお話を聞かせて頂きました。



懇親会風景

そして、八幡平中学校1年の坂本環子さんの民話昔語り「だんぶり長者伝説」に続きます。

会のテーマが『コロナ禍まけずに世代を超えて繋ごう』なので、若者による方言昔話語りは、会の揺るぎない未来を保証するものと確信致しました。そして、会の活動報告、乾杯の音頭、懇談、ブラスバンド・演芸・歌謡民謡アトラクション、参加者への突撃インタビュー、大抽選会と進んで最後に八幡平中学校校歌を参加者全員で歌い皆の気分が最高潮に盛り上がり、名残り惜しさが尽きない雰囲気の中で15時に中締めとなりました。

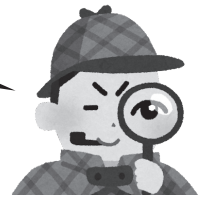


八幡平中学校生徒による方言昔話語り

毎年5月末の日曜開催となっている（岩手県）八幡平ふるさと会は、同じく3年ぶりに昨年こそと準備したのですが、第6波が春に猛威を振ったため止む無く断念しました。

本年の開催に向けた昨年11月の当会役員会には、東京出張中の佐々木孝弘八幡平市長にご参加を頂きました。昨年2月の北京オリンピックスキージャンプ金メダリスト小林陵侷さんの帰郷模様、1966年に始まる日本初の商用地熱発電事業の拡大と地熱利用のバジル栽培や染物加工事業等の展開、地熱に加え環境省名水百選『金沢清水』に惚れ込んだ暁ブルワリーのビール工場開設、シェア日本一のリンドウ栽培の国際展開、昨年8月開校した英国名門校ハロウインターナショナルスクール安比ジャパンとの交流の様子、近年人気高まる観光地八幡平ドラゴンアイの混雑模様などの清々しいお話に役員一同元気を貰いました。自然エネルギーと食料の自給をベースにして世界に目を向け、先進的に持続可能な街づくりに取り組む市長と関係者皆様の熱意に、改めて心より敬意を表する次第です。

三名(迷)所探し その3



ローカルおでん3種

おでんのルーツは、串にさした豆腐に味噌をつけて焼いた豆腐料理です。

その豆腐を串にさして立てた姿が、豊作を願って田楽法師が驚足(又は高足)と呼ばれる長い棒にとりついて水田で踊る姿に似ているからというのが命名のいわれです。

その「田楽」に京都御所の女官ことばの『お』がついて「お田楽」⇒「お田(楽)」⇒「おでん」と変化していったものです。

そのおでんが、江戸に伝わると、豆腐を1つ1つ焼くという手間を省いて、1度に鍋で煮る(炊く)という調理方法に変わります。

さらに、鍋で煮るのなら豆腐の他に蒟蒻、ちくわ麩なども一緒に煮てしまおうとなり、それなら、大根、はんぺん、がんもどきも---と具材がどんどん増えていき、現在のような形になったと言われています。

それが、上方(京・大阪)に逆輸入されると、従来からの味噌田楽や木の芽田楽と区別するために、『関東炊き』と呼ばれるようになりました。その後、京の出汁文化の洗練を受けて、昆布や鰹節でだしを取った薄味で色目も薄い『関東炊き』が出現します。そうすると、薄味なので、素材の味をよく活かせるということで、京野菜、湯葉など淡白な味わいの具材も加わって、より多彩となり江戸の関東炊きとは別の味わいのものとなります。

それで、江戸の出汁も色目も濃い『関東炊き』と区別するために「関西風関東炊き」と呼ばれるようになりました。

もっとも「関西風関東炊き」という呼び名は、落語のネタならばともかく、面白過ぎて分かりにくい。それで現在は京風おでんと呼ばれるようになっていきます。

いずれにしても、現在は「おでん」という名称のもとに

①味噌田楽・木の芽田楽

②関東炊き

③京風おでん(関西風関東炊き)の3つが存在し、豊かなおでん文化が花開いています。

さらに、全国各地で地元食材の旨さを生かしたおでんが誕生し、百花繚乱の趣となっています。

その中でも、特に地元食材を生かした個性的なローカルおでん3種を紹介します。

1 金沢おでん

金沢には麩の文化があり、代表的な食べ物の治部煮にも麩が入っていますし、市内には麩の専門店もあります。

その麩の中でもひときわ大きく、噛み応えのある車麩がおでんの具材となり、金沢おでんの代表的具材となるのも当然の成り行きと言えるでしょう。安い食材ながら麩にしみ込んだ出汁の旨味が程よく、気軽に注文できるのも魅力の一つです。

また、金沢は、金時草、ヘタ紫なす、加賀太きゅうりなどの加賀野菜も有名ですが、その加賀野菜のライン

ナップからレンコン、たけのこ、だいこんなどの具材も、おでんになることで野菜本来の旨さを発揮しています。

さらに、バイ貝、カニ面など海の幸のおでんも出色です。

金沢おでんは、地元の白山水系の水の旨さを感じさせるさらりとしたタイプの純米酒との相性もバグンです。

2 静岡おでん

黒はんぺん(地元で獲れるサバやイワシの練り物)、牛すじ、大根、卵などを串にさして濃い口しょうゆの色の黒い出汁で煮込んだおでんで、青のり、だし粉(イワシなどの削り節の粉)を振りかけて食べます。

具材の全てが串に刺されているので、駄菓子感覚で手軽に食べられるのが特徴で、味が濃い分、生ビール、ハイボールなどともよく合いますし、意外にもコカ・コーラ、メロンソーダなどのソフトドリンクとも相性がいいようです。

また、おでん屋が軒を並べたおでん横丁が青葉おでん街と青葉横丁と市内に2か所もあります。



静岡のおでん横丁



静岡のおでん街

3 京おでん

昆布、かつお節でしっかりと出汁をとり、薄口醤油で仕上げた京都のおでんは、見た目も美しく、具材の味を引き出すことができるので、京都の代表的な食材の湯葉、だし巻き卵、筍などの京野菜が特徴的な具材となります。また、時代小説家の池波正太郎さん絶賛の箸ですーっと切れるほどに柔らかく煮込んだ明石の真だこなども有名です。

また、トマト、壬生菜などの新鮮な野菜や焼いた鰹や焼きアナゴなどを、注文を受けてから小鍋でおでんの出汁を使ってさっと煮るといった新しいタイプのおでんも出現しています。

ゆずの皮をおろし金で削って振りかけ、見た目も美しいおでんも増えています。

京おでんには会席料理の一品のようなものもありますので、大吟醸などはんやりとしたお酒ともよく合います。

テレビのお昼の番組で、お取り寄せご当地おでんのランキングを発表していましたが、①京都 ②京都(①とは別の京都のお店の商品) ③金沢 ④静岡が地域別のトップスリーを占め、以下、新潟・博多・小田原・姫路などがランクインしていました。

このほか、赤蒟蒻を煮込んだ琵琶湖の竹生島のおでんや生姜を味噌だれに刷り込んだ青森おでんなど各地に特徴のあるおでんがあります。

事務局より

なかなか収まってくれないコロナを恨みつつ、今、事務局として何が出来るかを模索しています。

1月に予定していた新年会員交流会を急速なコロナ蔓延で、一応延期とさせて頂いています。

コロナ相手にじたばたしても、今できる事を一つ見つけました。

かわら版103号の事務局よりで、私のふるさと大分県の姫島が健康長寿の島となっている事をご紹介させて頂きましたが、全国のふるさとには、こういう健康長寿、あるいは、百寿の多い地域など、たくさんある事に気づきました。

人口10万人当たり百寿者の比率が全国平均の3倍の長寿のま



ち京丹後市や、世界5大ブルーゾーン(健康で長生きの人が多く居住する地域をいう)になっている沖縄 大宜味村などを見つけました。

このような、健康長寿のまちづくりを目指す、行政(ふるさと)は大小の差こそあっても、ほぼ全てのふるさとが達成したい目標だと考えます。

健康寿命下位であった大分県が、健康寿命日本一大分県を掲げて健康づくりを推進した結果、何と男性が日本一(女性は4位)になる事ができた実例は、当会にも、なにか、出来る事があると考えています。

私の私見ではありますが、コロナは健康の大切さを私たちに突き付けていると。

コロナの収まりが見えない今こそ、健康長寿の地域の情報を共有して、全国におられる会員様に発信する事が、今、できる事ではないかと考えています。

かわら版へのご投稿、あるいはFacebook、そして、Mail furusatotaishi@gotochi.bizに情報を頂けますなら幸いです。

事務局長 甲斐功一

全国ふるさと大使連絡会議の概要

- 設立年月 1996年8月8日
- 目的 各地において制度化され、委嘱されている「ふるさと大使」および「委嘱者」相互の情報交換・交流・連携を図り、全国のふるさと・地域の活性化に貢献することを目的とし、その達成のために各種の事業を行うものとする
- 会員の資格
 - ①ふるさと大使
 - ②ふるさと大使委嘱団体関係者
 - ③ふるさとを愛する人々等
- 会費 所定の会費(3,000円以上、団体会員は10,000円)もしくは相応の貢献寄与をしなければならない

2021年3月末現在の会員構成

大使会員	113名
団体会員	11団体
一般会員	155名
合計	279名

確認された大使制度

(2019年10月現在)

県知事が委嘱	44団体	90制度
市長村長が委嘱	630団体	731制度
諸団体等の長が委嘱	147団体	150制度
合計	821団体	971制度

年会費納入のお願い

個人会員—3,000円 特別会員—5,000円 団体会員—10,000円

以下の方法でご送金賜りますようお願い申し上げます。

*郵便振込み 店名 038 普通 7211051 口座名 全国ふるさと大使連絡会議

*銀行振込み 三菱UFJ銀行 亀戸支店 普通 0173146

口座名 全国ふるさと大使連絡会議

*郵便振替 口座番号 00190-7-149658 口座名 全国ふるさと大使連絡会議

(注)多くの方に郵便振替でお振込みを頂いていますが昨年1月17日の料金改定で、現金での手続きですと振込料に110円加算されます。郵貯口座での、振り込みなら加算されません。郵貯のATMから手続きできますのでご利用いただきますようお願い申し上げます。

編集後記

不思議なことに、そして、幸運なことに全国大会の頃になるとコロナの波が収まりますので、昨年も、一昨年に引き続き永田町のルポール麹町で「ふるさと大使2022全国大会」を開催することができました。

3時間弱という短い時間でしたが、有意義な情報収集、交流交歓ができましたこと、お話しいただいた先生方、地方の特産物をご提供いただいた方々など関係者の皆様、改めて厚く御礼申し上げます。

今回のかかわら版では、その全国大会の模様を紹介したほか、3つのふるさと大使を務めておられる牧慎太郎さんのお話、友岡照美さんと平田和彦さんの新会員のひと言、恒例の鉦谷君子さんの旅紀行、八幡平市ふるさと大使の伊藤彰さんのふるさと会のご報告などの玉稿をいただきました。

うさぎ年の本年、更なる飛躍に向けて頑張っていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

ふるさと大使かわら版 2023年1月26日—令和5年新春号— (通巻105号)

◇発行：全国ふるさと大使連絡会議 (代表=平谷英明) ◇編集責任者：平谷 英明

◇事務局：〒136-0071 東京都江東区亀戸7-65-20 全国ふるさと大使連絡会議

TEL：03-3684-0488 FAX：03-3684-6800 Email：furusatotaishi@gotochi.biz

URL http://www.furusatotaishi.com

